

ニュースレター No.86

会長挨拶

一般社団法人 福岡県助産師会 会長 佐藤 香代



今年の夏は本当に暑かったですね。

これは、地球温暖化やエルニーニョ現象の影響で、地球の大気全体の気温が高くなっていることに加え、太平洋高気圧の勢力の強まりや偏西風の蛇行で上空に暖かい空気が流れ込むといった条件が重なったことによると言われています。9月も30℃を超える真夏日を記録しました。来年以降もこのような気象が続くのでしょうか。気温上昇に加え、ゲリラ豪雨が頻繁に起こる今の日本は、もはや亜熱帯気候に近いのではないかと思います。

未来を担う子どもたちのために環境に関する情報に耳を傾け、できることから行動に移していく必要があると強く感じています。

さて、**分娩費用の保険適用化**ですが、厚生労働省 保険局保険課・医療課による「妊娠・出産・産後における妊産婦等の支援策等に関する検討会」がこれまでに4回行われました。

第1回は「概要の説明」で、続いて第2回「医療者側」、第3回「妊産婦側」、第4回「保険者側等」のヒアリングがありました。日本助産師会はこの検討会の構成員であり、第2回に助産師の現状のプレゼンを行っています。その概要は以下の通りです。

助産所は家庭的な環境の中、安心してきめの細かい一人一人に合わせた妊娠期から育児期までの継続的な助産ケアを行っている。また、必要な医療機器や設備を備え、エビデンスに基づいた助産ケアを行う実践能力と環境を整備し、緊急時の連携体制を確保している。正常からの逸脱もしくはそれが予想される場合には、高次医療機関と連携し搬送するようにしている。助産所の使命は低リスク妊産婦を安全に管理し、女性が満足できる出産をサポートすることである。そのために助産所の嘱託医・嘱託医療機関との連携体制を整えている。妊娠、出産、産後のケアは、助産業務ガイドライン及び産婦人科診療ガイドラインを遵守している。

今後の日本助産師会の対応は、たとえ「出産費用の保険適用」がなされた場合にあっても「妊産婦に不利益にならない」そして妊産婦同様「助産師にも不利益にならない」ことを伝えていく方針です。実施したケアに対し的確な対価を得られるよう、今後も準備を怠らず発言していく必要があります。

分娩費用の保険適用化や今後の対応について、ぜひ会員の皆さまのご意見をお寄せ下さい。

委員会活動 報告

組織強化委員会 浦部 きくえ

組織強化委員は、今年度の目標①会員数が増加する②会員満足度が向上する③助産師および助産師会の認知度が向上するに向かって、対面やオンライン会議において5人委員で意見交換をしながら活動計画を立てています。

- ① について、昨年度同様今年度も県内 10 校の助産師養成校のご協力により、学校訪問で助産師会の案内と魅力をお伝えできる予定です。既に1校は訪問を終了しております。
- ② について、現状の満足度把握のため全会員を対象にアンケート調査を実施する予定です。ご協力をよろしくお願いいたします。
- ③ について、11月30日に国際助産師の日イベントとして『リトルベビーハンドブック講演会』を予定しております。皆さま、小さな赤ちゃん専用の母子手帳リトルベビーハンドブックがあることをご存知でしょうか。全出生数の9.5%前後が低体重出生児である今、妊娠・出産・産後を通し母子に寄り添う私たち助産師がリトルベビーハンドブックを知り、活動に活かすことができればと思い、企画いたしました。
また、ひとりでも多くの方に福岡県助産師会と助産師の存在を知っていただく機会になれば、嬉しく思います。お申し込みは日本助産師会 HP よりお願いいたします。



災害対策委員長 神崎 秀子

R6年7月13日 福岡県助産師会館にて、防災訓練を実施しました。福岡県助産師会では、年2回防災訓練を行っています。

今回は「会館台所から火災が発生した」を想定し避難訓練を行いました。

火元を確認したうえで、「火災が発生しました」と大声で周囲に知らせ、ハンカチやタオルなどで鼻と口を覆い、低い姿勢で避難移動の声かけを行いながら、安全な場所に誘導しました。

火災通報と初期消火、避難誘導、毎年訓練を繰り返し行っているため、落ち着いて行動しました。

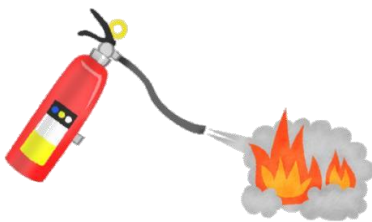
避難場所に集合してから人数点呼、逃げ遅れの有無など確認を行い3分程度で終了することができました。その後、水消火器を使い一人ずつ訓練をしました。

訓練を終えて感じたことは、実際に火災が起きた時に慌てずに行動する事が大切だと思いました。



毎年のように災害が発生しています。自然災害はいつ何処でも起こる可能性があり、災害が起きてからでは何もできないと認識しなくてはならないです。一人ひとりが自ら取り組む姿勢が大切で、自らのいのちは自らが守る意識を持つことが大切です。

そして、私たち助産師は、母子のいのちを守るためには、個々の防災力を高めることが必要だと思います。「防災に正解はない」、これを準備したら大丈夫というものではありません。起こりえる災害を想定し、発生時の行動を考えながら、日々訓練に取り組む必要があると思います。そして、被害を最小限にする事が訓練の重要な役割です。



7月27日(土)に第1回安全対策研修会「情報をめぐるリスクとは～助産師が情報発信時に注意すべきこと～」のテーマで、両角駿弁護士を講師にお招きし、会員対象の研修会を開催いたしました。対面とZoomでのハイブリッド開催により、38名の会員にご参加いただきました。ご講演の中で情報は財産であり、SNS等で助産師のケアを求める方々へ効果的に情報発信できる一方で、情報発信の方法や表現内容により医療法や景品表示法等、様々な法律に抵触する可能性があることを学びました。対面研修では、実際にホームページを有する開業助産師の方に事例発表いただき、どのような表現にするとより正確かつ安全に情報を伝えられるのか具体的に学び、会員相互に大変貴重な時間を共有できました。

今後も情報共有と研鑽の場をもち、会全体として医療安全の向上に寄与できるよう努めて参りたいと思います。



三部会報告

助産所部会 田嶋 昌枝

今年の夏は各地で記録更新の猛暑でした。また能登半島、輪島においては地震の復興途中ながら、9月に水害までみまわれました。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

厚生労働省が出産情報サイトを立ち上げ、本年5月から分娩施設ごとのサービス内容や出産費用の「見える化」のためのウェブサイト『出産なび』の運用は皆様すでに周知のところですが、これらの取組みの効果等の検証を行った上で2026年開始予定の分娩費用の保険適用の導入を含め出産に関する更なる強化について検討を進める本格的な調査が始まりました。

まずは10月10日提出締切りの調査、【正常分娩を取扱う開業助産師を対象に厚生労働省科学研究として分娩取扱施設における出産に係る費用構造の把握のための調査】は皆様大変お疲れ様でした。

今後、この調査結果が私達開業助産師の細やかな助産ケア、目には見え難いサービスを測ることになり、将来的に分娩に対する支援の在り方の検討の基になること、また助産ケアの評価基準が明確化されることに繋がると大いに期待致します。

産後ケア事業の現状について

妊娠出産・包括支援委員長 豊田 晴子

産後ケア事業の進捗状況をまずお伝えしたいと思います。
産後ケア事業に対して県からの補助もあり、色々な自治体が年度途中での契約変更がありました。事務作業はとんでもなく増えましたが、自己負担金の減額がご利用される方にとって、とてもありがたいことです。その影響もあってか、産後ケア事業の認知度が上がったと捉えてよいのか明らかに自治体によっては昨年と同月と比べ3倍増加しているところもあります。自治体からの広報のたまものだと感謝申し上げます。

更に8月からの産後ケア事業新規参入者19名です。産後ケア事業の受託施設も70施設となりました。助産師会が最初に掲げました、『県内どこにいても産後ケアを受けられる仕組みづくり』の夢が現実となってきました。助産師の質の担保として日本助産師会が提示しています研修を決められた時間数受講したもの、また賠償責任保険に全員加入している。等々産後ケア事業の実施施設となるための条件を定めています。今後、集合契約をご希望される自治体がありましたらお声かけをお願い致します。

次に、長年頭を痛めておりました報告書、請求書等の様式に関する自治体によって書類がバラバラ問題も間もなく終わりを告げようとしています。福岡県の担当の方との最終打ち合わせが終わりました。立場により考え方が違うと突き放つのではなく、いかに話し合いによって良いものを作り上げるか。今回の話し合いで学びました。
令和7年度は、報告書作成に頭を痛め時間を費やすのではなく、ケースに応じた素晴らしい産後ケアを実施する為の時間が取れるとおもいます。
料金統一に関しましては次のステップになるかと思えます。

今後ともご協力の程宜しくお願い致します。



福岡市マタニティスクール 報告

マタニティスクール運営責任者 福澤 雪子

福岡市委託事業「働くママとパパのマタニティスクール」は、2024年度前期の6か月間で914名の参加申し込みを受け付け188名の方が参加されました。延べ36名のベテラン助産師（会員）が、沐浴指導や赤ちゃんのいる生活について、具体的に丁寧に指導を行い、参加者の悩みや疑問に親身に対応してくださっています。

特に沐浴体験は赤ちゃんのいる生活がイメージできると毎回好評です。

今後も市民の期待に応えられるマタニティスクールとなりますよう、皆様のお力添えをお願いいたします。

なお、会館建て替えに向けた代替施設探しも大きな課題です。適当な代替施設をご存じの方がおられましたら福岡地区理事にお声掛けください。

助産師が伝える包括的性教育・いのちの教育 連続研修

包括的性教育ワーキンググループ 委員長 道園 亜希

5月にスタートした本研修も、先日10月13日(日)に第6回目を終わりました。

助産哲学に加え「今なぜ包括的性教育なのか」「助産師が行ういのちの教育」「プレコンセプションケア」というコアとなる概念を深く学び、9月からは「幼児期～小学校低学年」「小学校中～高学年」といった各ライフステージにおける包括的性教育の概要及び実践に関する学びに入りました。前半で学んだ内容を、各ライフステージでどのように応用するのか、この年齢の子ども達から質問を受けたらどのように応えるか、毎回概論に立ち戻りながら、新たな知識・スキルを積み重ねています。実践の紹介は、ワーキングメンバーが実際に幼児や小学生にどのように包括的性教育を行っているのか、またその時の工夫した点や気づきなどを参加者の皆さまと共有しています。本研修では毎回グループワークを取り入れています。第1回目から継続して参加してくださっている方が多く、回を重ねるごとにより盛り上がりを見せているように感じます。

今後は、中高生、大学生への包括的性教育と続きます。ありがたいことに対面でのお申し込みは、ほぼ毎回キャンセル待ちの状態です。興味のある方はどうぞ早めにお申し込みください。ワーキングメンバー一同、皆さまと学びを共有できること、とても楽しみにしています。



地区活動を紹介します！

久留米地区理事 加藤 陽子

「助産師と語ろう」開催

久留米地区では9月1日に地区研修会「助産師と語ろう」を久留米市子育て交流プラザで開催し、10組の子育て中のご家族にご参加をいただきました。

研修会は、夏から秋の肌トラブルから赤ちゃんと家族を守る方法に関する講演を行い、その後のフリータイムのワークショップでは、みなさんかわいい置き型虫よけを参加者同士、そして私たち助産師と語りながら楽しく作成しました。また、パパさんによる妊婦体験も大変好評でした。

パパさんたちは思っていたよりも重くてびっくり、みているママさんにはにっこり、お子さんはパパのお腹をなでなでと、とても温かい雰囲気に包まれていました。

地域の皆様に助産師を知ってもらおうということで、毎年続けているこの研修会のテーマとおりに今年も参加者のみなさんと語り合うことができました。また、今年は13人の助産師がスタッフとして参加してくださり「助産師同士で語ろう」もできました。

これからも久留米地区は力を合わせて、地域の皆様が身近に感じられる活動をしていこうと思っています。



賛助会員セミナー開催報告

書記 阿部 聖子

【赤ちゃん和妈妈のスキンケアセミナー】(株)未来協力、9月10日オンライン開催。
内容は、お肌の基本的な知識・赤ちゃんの正しいスキンケア方法、冬の乾燥から赤ちゃんの肌を守るスキンケアについて、小児科・アレルギー専門医による赤ちゃんのスキンケア、スキンケアに必要な皮膚科学と化粧品に対する知識・関係性についてでした。
非会員1名・一般8名を含む51名の参加があり、初参加の希望者12名に試供品の提供がありました。

【メンタルヘルスとプラズマローゲンセミナー】B&S コーポレーション協力、9月28日に助産師会館とオンラインで同時開催。
内容は、周産期のメンタルヘルス、プラズマローゲンについて、メンタルヘルスにおけるプラズマローゲンの効果、周産期へのプラズマローゲンの応用、ホタテ由来のプラズマローゲンの特徴等でした。
非会員3名・一般1名を含む28名の参加があり、会場参加者には試供品の提供がありました。

両セミナーとも参加者からは、「非常に有益な情報を得られた」「実際に製品を使ってみたい」といったご意見をいただきました。今回のセミナーを通じて、スキンケアやメンタルヘルスとプラズマローゲンに関する理解が深まり、今後の母子のケアに役立つ多くの知見を得ることができました。次回のセミナーもぜひご期待ください。

ホームページ会員登録のお願い

会員登録がお済みでない会員におかれましては、登録をお願いいたします！

手順は、福岡県助産師会 HP⇒助産師の方へ⇒会員登録について⇒会員登録フォームに必須事項の入力となります。

これまで、日本助産師会事務局から福岡県助産師会会員の皆様への情報提供手段として地区理事や各部会長を通して伝達しておりましたが、2022年9月より福岡県助産師会ホームページ内の「会員ページ」に掲載することになりました。会員ページにログインされずと観覧制限しているページを見ることができます。



私たちは、働く皆様を「快適な眠り」で支えます。

東洋羽毛について詳しくはこちらをご覧ください



東洋羽毛 睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

東洋羽毛では、「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただきます。

※オンラインセミナーの開催も承ります。

《お役に立てる主な研修》

- 医療安全対策研修 睡眠不足とヒューマンエラーの関係や、交代制勤務における睡眠のコツなど
- 学校保健委員会 「学力」や「部活動」、「スマホ・ゲーム」と睡眠の関係
- 高齢者の睡眠ケア 高齢者の睡眠マネジメントやこれだけは知ってほしい生活習慣

※他、施設内研修などご相談承ります（事前にお打ち合わせにお伺いする事も可能です）

睡眠セミナー講師は状況に応じて都合次第で対応を変更しています。

※セミナーに申し込まれる場合は、二次感染のリスクを軽減するため、事前にお打ち合わせをお願いします。

東洋羽毛九州販売株式会社 福岡営業所
〒812-0062 福岡県福岡市東区松島1-15-28 TEL 0120-104-557

mamo-hada だけの「0ゼロ添加」低刺激処方

肌への優しさを追求し続けることが 私たちの最大のテーマです。

敏感肌スキンケアシリーズ



まも肌 ペビー泡ソープ 400mL / 【10ヵ月用】 350mL (※中から選択)
まも肌 ペビーミルククリーム 120g / 60g (※中から選択)
まも肌 ペビーUVエアークリーム 50g (※中から選択)
まも肌 トライアルセット ペビー泡ソープ (30mL) + ペビーミルククリーム (13g)

「0ゼロ添加」低刺激処方

より安心してお使い頂くために

まも肌は、外部専門機関で複数のテストを実施しています。

- ① 薬学的試験(アレルギーテスト)済み
- ② 敏感肌対象パッチテスト済み
- ③ スティンギングテスト済み
- ④ 皮膚科医監修による乳児対象使用テスト済み
- ⑤ アトピー素因の方対象パッチテスト済み

※すべての方にアレルギーが起きないということではありません。

不使用成分

- 石鹼系界面活性剤
- キレート剤
- pH調整剤
- 香料(天然・合成)
- 色素(天然・合成)
- アルコール
- 動物油脂
- 動物由来成分

【製造販売元】株式会社日本免疫研
【商品に関するお問い合わせ】株式会社未来 TEL 03-5148-1007

ママと赤ちゃんのコンビニエンス

●● 産科用品の自動販売機 ●●

院内サービスショップとして24時間いつでも利用していただけます。

GLORY
汎用投筒機 AE-20V

- 1台で90品目販売、豊富な品揃えができます。
- 販売価格は5,000円まで。もちろん、千円紙幣も使えます。
- 売上集計もワンタッチで、ジャーナル印字も行えます。

陳列コラムを回転させながら商品が選べます

↓

投入金額以内の陳列コラムの扉を1つだけ開けて商品を取り出せます



外形寸法: (W×D×H) 800×685×1830mm・重量150kg

企画・発売元 **SEBE** セベ産科用品株式会社
〒812-0016 福岡市博多区博多駅前4丁目11-11 TEL (092) 472-4316

産褥社 (胎盤処理)

〒811-1313
福岡県福岡市南区日佐3丁目 34-16

TEL : 092-581-6588

代表 : 村上 士朗



会計からのお願い

★次年度の会費の口座振替実施日：2025年2月25日です。

登録口座にお金の準備をお願いします。

★口座振替未手続きの会員様は振替手続きにご協力をお願いします。

現金でお支払の場合手数料100円を上乗せした¥25,100円を振り込んで頂いております。
口座振替手続きに必要な書類は日本助産師会のHPから申し込むことができます（12/28✕切）
できない場合は下のメールアドレスに、ご連絡をくださればお送りします。
できるだけ円滑に会費の会計処理を行う為にもご協力ください。

会員募集

一般社団法人 福岡県助産師会では、会員を募集しております！！

ご友人や職場の方をお誘いし、一緒に活動してみませんか？
入会をご希望される方は、下記QRコードより福岡県助産師会ホームページにアクセスし
【助産師の方へ】⇒【入会案内のページ】にお入りください。
または、下記担当者への連絡をお願いいたします。



【福岡県助産師会 会計 山口美津枝】
住所：〒807-1134
北九州市八幡西区茶屋の原4丁目1-12
電話：090-9607-3331
メールアドレス：3enyanko@gmail.com

おひとりでも多くの皆様の入会を心よりお待ちしております。

【編集後記】

今年度2回目のニュースレターをお届けします。
暑い夏が終わり、寒暖差に秋の深まりを感じますが、今年も残り2か月とは早いものです。
皆様、くれぐれもご自愛ください。

広報・渉外委員 安河内・新・原武・阿部・伊与田

一般社団法人 福岡県助産師会 ニュースレター 第86号 2024年11月
発行人 一般社団法人 福岡県助産師会 会長 佐藤 香代

〒810-0014 福岡県福岡市中央区平尾1-3-41
電話・FAX 092-521-2025 <https://jyosanshi.net>